

ウェルネス相談室

NOVE株式会社

<https://www.wellness-designlab.com/>

LINEで簡単予約！心理専門職によるオンラインカウンセリングで心の成長をサポート

提供可能エリア(可能エリアが青塗)				サービスの概要・特徴
北海道	東北	関東	甲信越	<p>従業員の心身の健康を包括的に支援する企業向けメンタルヘルスサービスです。公認心理師のカウンセリングに加え、保健師・看護師による健康相談も選択でき、利用のハードルを低減します。</p> <p>【主な特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理・看護・キャリア等の専門家から自由に選択可能 ・LINEで24時間予約、オンライン面談を基本に電話・対面も対応 ・睡眠や体調相談から不調の早期発見・対応、復職支援まで幅広くカバー ・生活記録表を活用した面談で復職後定着率95%を実現 ・利用は完全匿名でプライバシーを厳守 <p>【費用面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月額定額＋面談実費で待機フィー不要、低コスト運用が可能 <p>【企業へのフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談内容を集团的に分析し、離職・ハラスメントリスクを報告 ・個別情報は本人同意時のみ共有、安全上の危機は産業医・人事と連携 <p>【付加的特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員が研修も担い、信頼関係を構築して相談しやすい環境を醸成
北陸	東海	近畿	中国	
四国	九州	沖縄	海外	
提供可能法人規模(◎：実績あり、○：提供可)				
50人未満	1,000人未満	10,000人未満	10,000人以上	
◎	◎	—	—	
サービスの目的・期待される効果				
【凡例】◎：実証評価>●：理論的裏付け>○：ユーザー評価				
基盤整備	法制度対応	—		
	制度・施策体系の整理	—		
	人事・産業保健業務の効率化・負担減	●		
	組織状況の把握	●		
取組の普及・浸透	サーベイ受検率向上	—		
	相談窓口の利用率・認知率向上	—		
	プログラムへの参加率・利用率向上	—		
	不調の早期発見・対応	●		
	ヘルスリテラシー・意識向上	○		
	仕事のストレス要因低減	—		
	心理的安全性・上司のサポート力向上	—		
心の健康・業務パフォーマンス	周囲のサポート力向上	—		
	生活習慣の改善	●		
	健康状態・心理指標改善	◎		
	アブゼンティーズム改善	—		
	プレゼンティーズム改善	○		
	ワーク・エンゲージメント向上	—		
	従業員エンゲージメント向上	—		
労務指標改善(離職率、残業時間等)	◎			
<p>導入企業の評価</p> <p>① コンサル系企業・人事担当者の声</p> <p>若手社員が「誰にも話せない悩み」を抱えるケースがありましたが、ウェルネス相談室は外部の専門職だからこそ安心して利用できます。</p> <p>必要に応じて専門医につなげる体制も心強いです。実際に高ストレス判定が出た社員が上司の勧めで早期に相談につながり、休職を回避して業務継続できた事例がありました。</p> <p>利用レポートで傾向や課題が可視化され、人事の打ち手が具体化。導入後は離職予防だけでなく、社員が主体的に健康と向き合う動きも生まれています。</p> <p>② 専門技術サービス業・労務担当者の声</p> <p>現場ごとに勤務形態や環境が異なり、労務担当だけではフォローが難しい課題がありました。</p> <p>導入後は、保健師や公認心理師が個々に合わせた支援を行うことで安心感が高まりました。</p> <p>特に印象的だったのは、過去に3回休職した社員が復職支援プログラムを活用し、元気を取り戻して復帰できたこと。復帰後も定期的なフォローがあり、安定して勤務を継続できています。</p>				

ウェルネス相談室

NOVE株式会社

<https://www.wellness-designlab.com/>

理論的裏付け

採用している理論の概要

- ・健康診断結果の集団分析・事業所カルテ（けんぽコラボヘルス）
- ・プレゼンティズム損失（SPQ）
- ・アブゼンティズム（従業員健康意識調査アンケートで聴取）
- ・ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度（UWES）
- ・ヘルスリテラシー尺度
- ・ストレスチェック集団分析結果
- ・心理的安全性尺度

実証評価

学術介入の有無

学術研究機関等による科学的な効果検証

学術研究期間等が介在しない独自の効果検証

エビデンスの水準

ランダム化比較試験

非ランダム化比較試験

単純前後比較などの準
実験的研究

コホート研究

横断研究または症例対
照研究

実証評価の結果概要

主にはストレスチェックにおける総合健康リスクの低減、
プレゼンティズム損失の低減、
健康診断集団分析結果におけるハイリスク者の低減

ウェルネス相談室の強みは専門職による一気通貫サポート

